

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	さらさらにくみ (放課後等デイサービス)					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2		グループワークのスペースや研修室を置く場所が必要と思う
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数等は適切であるか。	7	1		目によって人数が足りない(欠席や研修等)
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障壁の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切に行われているか。	7	1		研修に教材を置かなければならぬため配慮はされていない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の数に合わせて生活空間となっているか。	6	2		過ごすスペースがまだまだ足りていない
	5	必要に応じて、こどもが個別の課題や発達を促すことが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	8	1		
	7	業務改善の推進により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その旨を業務改善につなげているか。	8	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その旨を業務改善につなげているか。	8	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		第三者評価は令和5年度実施予定
	10	職員の成長の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を実施する機会が確保されているか。	8			
	11	週別に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	毎々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもの発達特性のニーズや課題を定期的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、発達支援支援等職員研修などで、こどもの発達特性や課題が把握できているか。また、こどもの成長の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの発達状況の把握を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により確認しているか。	6	2		標準化されたツールについては必要とされていない
適切な支援の実現	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービス科の「個人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容が盛り込まれ、こどもの発達に必要と見込まれる項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		地域については取り組んでいるが、定量化していないこともあるため、今後定量化していく
	17	活動プログラムの企画をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ、放課後等デイサービス計画を修正し、支援が行われているか。	8			
	20	活動開始前には職員間で個別で話し合い、各自が行う内容を事前に内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず話し合いを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、良かった点等を共有しているか。	7	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の達成しやすさを確認し、必要に応じて修正を行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービス科の「4つの基本活動」を要諦と見做して支援を行っているか。	6	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促すための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	発達支援放課後等デイサービス科担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8			
	27	地域の保健、医療(生活介護や放課後支援等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を築いているか。	7	1		
	28	学校との関係構築(学習支援、行事支援等の実施、こどもの下校時の見守り等)、地域連携(自治体の関係、トータル支援等の実施)を適切に行っているか。	8			
	29	親子等に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を進めているか。	5	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから継続放課後等デイサービス事業所等へ移行する場合は、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	5	3		対象の児童がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてサービスや活動や相談を受ける機会を図っているか。	3	5		サービスや活動を受ける機会はない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもも活動する機会があるか。	3	5		
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	1	7		
	34	日頃からこどもの状況を把握するとともに、こどもの発達状況や課題について共有理解を持っているか。	8			
	35	事業の対応が向上を促す観点から、家庭に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		
保護者への説明等	36	事業内容、支援プログラム、利用料負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意向を尊重し、こどもの発達特性や課題の把握を踏まえて、こどもの発達に必要と見込まれる支援を行っているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を申し込んでもる保護者の意向を踏まえて、保護者から放課後等デイサービス計画の意向を得ているか。	8			
	39	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な相談と支援を行っているか。	8			
	40	父母会の活動や支援を受けることや、保護者同士の交流などにより、保護者同士で交流する機会や話し合いの場を設けているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8			
	41	こどもや保護者からの説明について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、説明があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に連絡等を行うこと、HPやSNS等を活用することにより、活動要約や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して共有しているか。	4	4		
	43	個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	8			
非営利性等の対応	46	非営利性マニフェスト、報告書対応マニフェスト、活動マニフェスト、健全経営マニフェスト等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2		訓練は行っているが実施されていない
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常時の発生に備え、定期的に訓練、検証その他の必要訓練を行っているか。	8	1		
	48	事前に、被害や予防措置、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	8			
	49	災害アレルギーズのあるこどもについて、医師の指示に基づき対応がされているか。	7	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要研修を実施する等、安全管理が十分行われて支援が行われているか。	7	1		
	51	こどもの安全確保に際して、事業所との連携が行われるよう、安全計画に基づく個別対応について、関係等へ周知しているか。	5	2	不明1	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記しているか。	6	1		対象者なし1